

## 編集後記

関係各位のご協力により『丸山眞男記念比較思想研究センター報告』第四号・第五号合併号を刊行することができました。東京女子大学としても、また比較思想研究センターとしても、大きな喜びです。

昨年は諸般の事情により、この報告を刊行することができませんでした。そのことを、最初にお詫びしなければなりません。二〇〇八年度中に未公開資料の整理をほぼ終え、二〇〇九年度にその全面公開を行うべく全力を注いでいましたため、センター報告を準備する余裕がなかったというのが実情です。皆さまに多大のご心配と、ご迷惑をおかけしました。重ねてお詫び申し上げます。

ともあれ、丸山眞男文庫顧問及び協力の会、東京女子大学図書館の協力により、二〇〇九年七月に、未公開資料の公開を実現することができました。完全な公開にまでは至っておりませんが、残りの部分についてもほぼ公開の準備を整えております。公開に際しては新聞各紙に報道されるなど、大きな社会的関心を呼びました。今後このたび公開された資料が、丸山眞男及び日本思想史、また世界的な政治思想研究に大きく寄与することを望んでやみません。

以上のような経緯により、今回のセンター報告は第四号・第五号合併号として刊行することとなりました。二〇〇七、二〇〇八年度の活動内容の報告が主体になっています。丸山眞男文庫の整備・公開準備状況、記念講演の記録、読書会報告、本センター企画の公開授業である共通科目「比較

思想」及び「総合講座・比較思想」報告など、二年分の報告が掲載されています。資料全面公開の準備をしながらも、これだけの活動を行ってこれたのは、関係各位の協力と協同によるものと、あらためて感謝いたします。

二〇〇七年度の緒方貞子氏による記念講演は、本学講堂が一杯になり、別室に中継放映するほどの盛況でした。丸山眞男の実像を彷彿とさせるだけでなく、その思想的な営みの一端を鮮明にし、また緒方氏自身の活動にも触れて、多数の聴衆、ことに若い本学学生に感銘を与えました。また二〇〇八年度の孫歌氏による講演は、中国でどのように丸山眞男が読まれているか、特に若い人々がどのような問題意識をもって丸山の仕事を受けとめているかを語り、孫歌氏の思想形成にとって丸山の仕事との出会いが持った意味を示したものでした。中国で丸山が読まれていることの大きな意義が感じられ、多数の参加者から鋭く建設的な質問が出された、印象的な講演でした。

なお今号から、未公開資料を公開する過程で発見・整理した資料のうち、特に重要と思われるものを紙上に公開することとしました。解説・翻字の作業を経て公開するに当たり、内容の紹介をも付すことを予定しています。今回は、戦後間もなく（一九四七年）おこなわれた早稲田大学での講演記録「現代政治学の課題一・二」を掲載しました。丸山眞男の政治思想の展開を把握するうえできわめて重要な資料と考えられます。今後こうした重

要資料を本報告に逐次掲載してゆく予定です。本センターのこれらの活動が、東京女子大学における社会科学・人文科学研究の基礎となり、さらに広く社会的な政治思想研究や文化活動の支えとなることを、関係者一同祈念してやみません。

安藤信廣（丸山眞男記念比較思想研究センター長）

東京女子大学比較文化研究所附置丸山眞男記念  
比較思想研究センター報告 第四号・第五号合併号  
二〇一〇年三月八日発行

編集 安藤信廣

発行 東京女子大学

〒167-8585 東京都杉並区善福寺二一六―一

印刷 ㈱丸井工文社